

答案記入上の注意

※検定前に熟読してください。低年齢の受験生に対しては、先生あるいは親御さんが説明してあげてください。なお、検定会場では読み上げません。

- ア、答えは算用数字で横書きに1行ではっきり書いてください。(応用計算の一部を除く)
- イ、答えは、その問題の答えの欄の中へ書いてください。もし、訂正のため欄外へ書いた答えには、矢印か番号をつけてください。
- ウ、1つの答えの欄の中に、2つ以上の答えを書いたり、また、答えの欄の中へ、答えに支障となるようなものを書いてはいけません。
- エ、書いた答えを訂正するときは、その答えを横線で残らず消して書き直し、消し残しがないよう、注意してください。
- オ、書いた答えを消しゴムで消したり、二重書きをしたり、答えの一部分だけを訂正してはいけません。
- カ、【3級以上】 答えの整数部分には、3桁ごとにコンマをつけてください。コンマと小数点ははっきり区別できるように書いてください。
- 【4級以下】 コンマをつける必要はない。

※「，」のようなコンマや、「．」のような小数点は無効です。

【以下は3級以上】

- キ、コンマ、小数点、記号だけを訂正してはいけません。
- ク、小数部分の終わりの位が0のときは、その0を書いてはいけません。ただし、端数処理をして出てきた0を、求める位まで書いたのはかまいません。
- ケ、応用計算の名数記号は確実に書いてください。
- 貨幣の答えは、基本単位で書いてください。このとき、名数記号は数字の前に書きますが、文字で書くときは、数字の後に書いてください。

例： ¥ 5 3 6 5 3 6 円

枠形式で出題されている問題については、名数記号は書かなくてもよい。

貨幣以外の答えで、2つ以上の単位をもつ名数は、基本単位で書いてください。

例： 3 . 5 kg 3 キロ 5 0 0 グラム

【以下は2級以上】

- コ、米貨でセント位を含む答えを書くときは、次のように書いてください。

例： \$ 4 6 . 5 0 4 6 ドル 5 0 セント

- サ、マイナスの記号は、数字の前に書いてください。